

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	薬剤過敏症症候群診療ガイドライン作成のための疫学調査
研究責任者	皮膚科部長 今門純久
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	薬剤過敏症症候群は重症薬疹の一型で、時に生命を脅かすこともあります。今回は、日本皮膚科学会が認定した専門医研修施設を対象に全国的な疫学調査を行い、難治例や重症例の実態、治療の実態を調べることを目的としています。個人が特定されないように作成され、当センターから調査責任者に送付された調査票は、厚生労働省の補助金により結成された「重症薬疹の調査研究班」によって解析され、まとめられ、重症薬疹の診断や治療のガイドラインの作成に役立てられます。
研究方法	2017年1月～2019年12月の期間に、当センターで診断・治療を受けた薬剤性過敏症症候群の患者さんの患者基本情報（入院日、年齢、性別、身長・体重、原疾患、既往歴）、薬疹の原因薬及び投与期間、臨床症状や検査所見を個人名が特定されないように調査票に記入し、調査責任者に送付します。調査責任者は、全国から集められた情報をもとに薬剤性過敏症症候群の診断や治療のガイドラインを作成します。患者さんは、この調査により、治療上の不利益やプライバシーを侵されることはありません。薬剤性過敏症症候群という重症薬疹の診断・治療の進歩に大きな貢献をする可能性の高い有意義な調査にご協力をお願いします。また、この研究に参加を希望されない方はご連絡下さい。参加を希望されなくも不利益はございません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 皮膚科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：今門純久 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604